

## イタリアとの異文化交流会 (2016.9.14)

イタリアのベニス出身で記録映画を制作するカミラさんが、出身地イタリアや訪問先であるチリ、ノールウェイおよびイスラエルを映像で紹介してくれました。二か月前に、我々にツーリズムと減災について講演してくれた、アンナさんの妹さんです。今回は、姉妹お二人共同で、震災後の復興状況を調査記録するために活動中です。

カミラさんは、訪問国を選ぶ目安として、知り合いの住んでいるところを優先することが多いそうです。

また、五か国語を話すカミラさんによれば、他言語習得のコツは二つ。まず、単身で他国を訪問し、その地の言葉で会話せざるを得ない状況に自らを投げ出すこと。また、学びたい言語の映画を見ることだそうです。

広く世界を見渡ししながら、身近なテーマに的を絞り実態を見究める姿勢に深く感動しました。



上之原さんの紹介で、30名のメンバーを前にプレゼンするカミラさん。



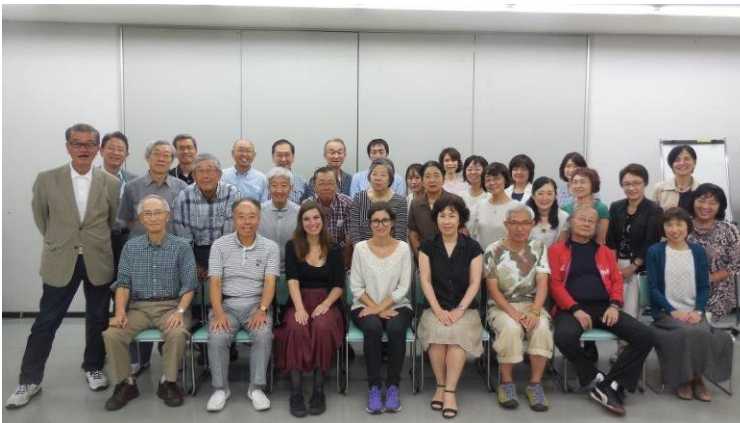
チリの南部、パタゴニア地域の水力開発に反対する住民をルポ。



ノールウェイの第二の都市、ベルゲンにてひと夏を過ごす。同じ形をした木造の家並。



戦後に建国されたイスラエルの首都テル・アビブ。古い街並みの向こうに新しいビル群が見える。



32名が参加した交流会。  
終了時間一杯まで、多くの質疑が交わされました。



アンナさん、カミラさん姉妹を囲んで、市立博物館内イタリアンレストラン三の丸での昼食会。